

NEWS RELEASE

令和2年12月4日

国立大学法人筑波大学
独立行政法人日本スポーツ振興センター

筑波大学と日本スポーツ振興センター
連携大学院の教育研究に係る協定を締結

このたび、国立大学法人筑波大学と独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）は、JSCが管理・運営するハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC：JAPAN HIGH PERFORMANCE SPORT CENTER）におけるスポーツ医・科学機能を中心として、筑波大学大学院の一層の充実、学生の資質向上の場とするとともに、相互の研究交流を促進し、もって、日本のスポーツ科学の発展に寄与するため、両者で既に締結している連携協定に基づき、連携大学院の実施に関する協定を締結することとし、本日11時より筑波大学東京キャンパスにおいて、筑波大学 学長 永田恭介、JSC 理事長 大東和美 及び関係者出席のもと、調印式を行いました。

本協定は筑波大学とJSCのうち、HPSCの国立スポーツ科学センター（JISS：Japan Institute of Sports Sciences）が中心となって、筑波大学東京キャンパスに設置されているスポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期・後期課程）において、高度職業人養成等の人材育成にあたるとともに、相互の研究交流を促進し、我が国におけるスポーツ科学の発展に寄与するもので、具体的には、HPSCの研究者が筑波大学の連携大学院教員に就任し、HPSCの施設・設備を活用しながら、筑波大学の教員との連携により学生の研究指導にあたることとしております。

筑波大学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを基本理念として、我が国における大学改革を先導してきました。今後も、連携大学院方式の一層の充実を図り、研究水準の高い研究機関との連携を進めてまいります。

JSCは「スポーツ基本法」の理念に基づき、我が国のスポーツ推進の中心的な役割を果たす独立行政法人として、スポーツ界全体の連携・協働に資することが求められており、今後も大学等の関係機関との連携に取り組んでいきます。



●筑波大学 学長 永田恭介 コメント

筑波大学の東京地区で開講されております、スポーツウエルネス学学位プログラムは、「スポーツと健康を繋ぐ」を基本理念とし、高度職業人を養成する博士前期課程と後期課程からなる社会人大学院ですが、筑波大学と JSC の両者が連携して創設する大学院では、互いの人材、知見を共有することで、スポーツウエルネス分野に関連した研究とともに社会人学生育成の推進を目指しております。

健康・体力の維持増進、また成人病など予防医学の観点からも身体活動・スポーツの実践が重要なことは広く知られている一方で、この重要性に焦点をあてた研究に取り組み、その成果を社会に還元している大学院コースは思うほど多くなく、今回実施する連携大学院の取り組みは、日本のスポーツウエルネス分野に貢献できるのみならず、トップアスリートへの学位取得への機会の創出にもつながるものであると考えているとともに、将来は、この連携拠点がハブとなり、他大学との連携へと広げていければと考えています。

本日の協定がスポーツウエルネス分野において大きな役割を果たしていくことを期待しています。

●日本スポーツ振興センター 理事長 大東和美 コメント

本協定により、これまでの JSC と筑波大学との連携関係が更に推進されることになり、大変意義深く、喜ばしく感じているとともに、JSC のハイパフォーマンススポーツセンターがこれまで蓄積してきた知見や成果を社会に還元する重要な取り組みの一つとなると大いに期待しております。

スポーツ基本法やスポーツ基本計画で掲げられているように、スポーツ環境の基盤となる人材育成は、我が国スポーツの推進のため大変重要な取り組みです。ハイパフォーマンススポーツセンターの人材や施設・設備といった資源を活用し、スポーツにおける人材育成に貢献することは、スポーツで未来を育てることをミッションとしている JSC にとっても重要な責務の一つと認識しており、本日の協定を契機に、各大学や機関ごとの枠にとらわれず、相互の研究交流やスポーツを通じた人材育成の取り組みの輪を広げるべく努めて参ります。